

第19回日本てんかん学会近畿地方会プログラム

【日 時】 2023年7月23日（日）

- *近 畿 地 方 会 9時55分開始
- *総 会 10時00分～10時20分
- *特 別 講 演 11時10分～12時10分
- *ランチョンセミナー 13時10分～14時10分
- *スイーツセミナー 15時20分～16時20分

【開催形態】 現地（大阪市立総合医療センター さくらホール）と
Live配信（WEB開催）のハイブリッド開催

【会 長】 三枝 隆博（大阪市立総合医療センター 脳神経内科）

【特別講演】 「てんかんにおけるグリア細胞の役割」
松井 広（東北大学大学院生命科学研究科 超回路脳機能分野）

【ランチョン「てんかんとネットワーク」
セミナー】 中野 直樹（近畿大学医学部 脳神経外科学教室）

共催：エーザイ株式会社

【スイーツ「子どものてんかん診療における脳波の役割と抗発作薬」
セミナー】 奥村 彰久（愛知医科大学医学部 小児科学講座）

共催：第一三共株式会社 / ユーシービージャパン株式会社

次回予告

第20回日本てんかん学会近畿地方会

日 時：2024年7月7日（日） ※予定
会 場：現地（大阪市内）とWEB（ZoomによるLive配
信）のハイブリッド開催 ※予定
会 長：中野 直樹
（近畿大学医学部 脳神経外科）

参加者の皆様へ

参加登録

- 1) 今回は、現地（大阪市立総合医療センター さくらホール）と Live 配信（Web 開催）のハイブリッド開催となっております。現地受付はございませんので、いずれの参加者も事前に参加登録をしていただく必要があります。

日本てんかん学会近畿地方会のホームページより、事前参加登録フォームにログインのうえ、お手続きください。

http://plaza.umin.ac.jp/~krbjjes/academic_meeting.html

- 2) 参加費（クレジットカード、銀行振り込みに対応）

正会員（地方会）： 3,000 円

非会員・一般： 4,000 円

非会員・研修医： 2,000 円

非会員・メディカルスタッフ： 3,000 円

※銀行振り込みの場合、振込口座は参加登録受付メールに記載しております。申込日から 10 日以内をめぐりに金融機関でお支払いください。

- 3) 抄録集

PDF 版：参加費のみ

印刷版：+2,000 円

※PDF 版は参加登録のマイページからダウンロード予定

※印刷版をご希望の方は、会員・非会員にかかわらず事前参加登録の際に 2,000 円でご購入ください。ご用意ができ次第、郵送にてお送りいたします。

- 4) 単位

ご入金を確認でき、単位認定条件を満たした場合のみ、単位の取得が可能となります。

日本てんかん学会てんかん専門医資格更新単位：

研究発表・講演（筆頭演者）20 単位、参加者 10 単位（近畿地方会参加者）

※同一学術集会における発表単位と参加単位は合算しない。

参加証が 7 月 25 日（火）より印刷可能となります。マイページよりログインのうえ、8 月 31 日（木）までに印刷して保管ください。

- 5) 現地参加される場合の注意事項

①現地へご来場の方は、受付にてご自身の QR コードを掲示していただく必要がありますので、印刷したものを持参もしくはスマートフォン等で表示が必要となります。

※スマートフォンの場合、スクリーンショット等でも可能となります。

②マスクの着用およびアルコールによる手指消毒にご協力ください。

③来場前のご自身で検温など体調の異常がないか確認してください。

※微熱が確認できた場合などは、ご来場をお控えください。

※座長、演者の方でもご体調に違和感があるなどの場合は、ご来場を見合わせていただき、学会事務局 krbjes@plus-s-ac.com までご連絡ください。

⑤発表内容を録音、写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていただきます。

6) WEB参加について

・事前参加登録受付メールに記載されております URL よりマイページへログインしてください。

※メールが届いていない場合は、学会事務局へご連絡ください。

・マイページ内にWEB視聴用マニュアルを掲載しておりますので、当日までに必ず、お目通しください。

・Zoomへの入室は、各セッション開始10分前より入室可能となります。

※セッションの遅れなどにより、入室可能時間が遅れる場合がございます。

交通案内

大阪市立総合医療センター さくらホール

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22

TEL：06-6929-1221



■電車でお越しになる場合

◆ JR 大阪環状線「桜ノ宮」駅下車（東口2 北東へ約7分）

地下鉄谷町線「都島」駅下車（2番出口 西へ約3分）

■駐車場はありません。車でのご来館はご遠慮ください。

座長・演者マニュアル

1. 座長の皆様へ

1) 受付方法と時間について

- ①当該セッションの30分前までに来場受付をお済ませください。
- ②セッション開始15分前までに、会場右手前方の次座長席にご着席ください。
- ③セッションの進行については座長に一任いたします。遅延等が出た場合、ご協力をお願いいたします。
- ④ご所属の規定などでご来場ができない場合は、事前に事務局へご連絡ください。1週間前をめぐり事務局よりお送りいたしますメールをご確認のうえ、メールに記載されたURLより、指定された時間までにログインし、接続確認をお願いします。

2) 発表質疑応答前のアナウンスについて

①セッション開始時

「ただいまより〇〇（セッション名）を開始いたします。」

②質疑応答開始時

「今から質問をお受けします。会場の方はマイクの前に、WEBの方はリアクションボタンをクリックしてください。発言者を指名いたします。」

※チャットでのご質問は読み上げをお願いします。

2. 演者の皆様へ

1) スライドの作成について

- ①オペレーターが使用するアプリケーションは、Microsoft Power Point のみとなります。
- ②スライドサイズは16：9での作成をお勧めいたします。
- ③大容量のビデオ動画はお控えください。
※WEB参加者のネット環境および、ネット配信サーバーの回線状況により著しく回線が遅くなり表示されないケースがございますため、ご協力ください。
- ④発表者ツールでの発表はできません。必ず原稿はコピーをお持ちください。
- ⑤フォントは文字化けを防ぐため下記フォントに限定します。
日本語…MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
英 語…Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
- ⑥プレゼンテーションに他のデータ（静止画・グラフ等）をリンクさせている場合は必ず「図」として挿入してください。
※元のデータからリンクすることは、トラブルの原因となりますので避けてください。
- ⑦事前に必ず作成に使用されましたパソコン以外でのチェックを行ってください。
- ⑧個人情報保護の観点から、日本てんかん学会の『患者プライバシー保護に関する指針』を遵守し、本地方会で発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような情報を表示しないようお願いいたします。
- ⑨リモートで発表される場合、音声付きのパワーポイントを作成していただき、その動画をもって、発表とすることも可能です。※質疑応答は、必ずLiveでのご対応をお願いします。

2) 発表データについて

①一般演題についてはご発表方法にかかわらず、7月19日（水）午前中までに下記メールアドレス宛に発表用データを提出してください。

提出用メールアドレス：krbjes@plus-s-ac.com

※データ容量が大きく、メール送付ができない場合は、上記アドレスまでご連絡ください。

※データの差し替えはできませんので、予めご準備ください。

※Windows MS PowerPoint のバージョンをご教示ください。（例：2016）

※Macintosh にて作成された場合には、その旨、明記ください。

②バックアップ用データとしてUSBメモリを当日ご持参ください。

3) 当日受付と時間について

①当該セッションの30分前までに会場受付をお済ませください。

②発表時間について

発表7分、質疑3分です。発表時間を厳守してください。

発表開始後6分でベルが1回、7分で2回、質疑終了後3回鳴ります。

③ご自身の発表15分前までに会場左手前方の次演者席にお越しください。

※現地では、以下の内容のパソコンにてお送りいただいたデータをご自身で操作していただきます。

なお、パソコンの持ち込みやデータの差し替えはできかねます。

発表用のパソコン：Windows

アプリケーションソフト：Windows MS PowerPoint

開会あいさつ ◆会 長 三枝 隆博 9:55 ~ 10:00

総 会 ◆議 長 貴島 晴彦 10:00 ~ 10:20

成人症例 10:20 ~ 11:00

◆座 長 井内 盛遠 (国立病院機構京都医療センター 脳神経内科)

1. 長期療養中の神経疾患患者に対する新型コロナウイルス院内感染の影響：てんかん発作のコントロールへの関与
○金星 匡人、坂下 健人、足立 洋、西田 勝也、横田 一郎、西本 啓介、河本 邦彦、山崎 浩、三谷 真紀、二村 直伸
国立病院機構兵庫中央病院 脳神経内科
2. 脳震盪亜急性期にBIRDsの脳波所見を呈し高次脳機能障害が進行した一例
○中野 美佐、細川 明子、佐木山 裕史
市立吹田市民病院 脳神経内科
3. ステロイド治療が奏功した頻回の ictal pouting を主症状とする LGI1 抗体陽性脳炎の1例
○荒木 健、吉村 元、前川 嵩太、藤原 悟、石井 淳子、高杉 純司、尾原 伸行、幸原 伸夫、川本 未知
神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科
4. 当院における自己免疫てんかんの臨床的特徴と治療効果の検討
○戸島 麻耶¹⁾、下竹 昭寛²⁾、立岡 悠²⁾、林 梢²⁾、坂本 光弘³⁾、原 敦⁴⁾、千原 典夫⁴⁾、小林 勝哉²⁾、宇佐美 清英¹⁾、松本 理器⁴⁾、近藤 誉之⁵⁾、高橋 良輔²⁾、池田 昭夫¹⁾
 1. 京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学
 2. 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学
 3. 洛和会音羽病院 脳神経内科
 4. 神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学
 5. 関西医科大学総合医療センター 脳神経内科

休憩 11:00 ~ 11:10

特別講演 11:10 ~ 12:10

◆座 長 三枝 隆博 (大阪市立総合医療センター 脳神経内科)

てんかんにおけるグリア細胞の役割

松井 広

(東北大学大学院生命科学研究所 超回路脳機能分野)

休憩 12:10 ~ 12:20

症候群・検査

12:20 ~ 13:00

◆座長 池田 仁 (てんかん・神経 大阪南森町いけだクリニック)

5. 当センターにおけるミオクロニー脱力発作を伴うてんかん (Doose症候群) の検討
○日野 孝祐、最上 友紀子、沖 啓祐、中島 健、木水 友一、富永 康仁、柳原 恵子、鈴木 保宏
大阪母子医療センター 小児神経科
6. Uganda北部のNodding Syndrome患者・家族に対する支援と効果
○井上 貴雄¹⁾、西 真如²⁾、坂井 紀公子³⁾、佐藤 靖明⁴⁾、武井 弥生⁵⁾、石井 良平¹⁾
 1. 大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科
 2. 広島大学
 3. 金沢星稜大学
 4. 長崎大学
 5. 余市協会病院 地域医療国際支援センター
7. 当院の結節性硬化症 (TSC) ボードにおける結節性硬化症患者の臨床的特徴
○十河 正弥¹⁾、木村 正夢嶺¹⁾、甲田 一馬¹⁾、森本 耕平¹⁾、的場 健人¹⁾、古東 秀介¹⁾、千原 典夫¹⁾、関口 兼司¹⁾、藤本 陽介²⁾、千葉 公嗣³⁾、永瀬 裕朗⁴⁾、松本 理器¹⁾
 1. 神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科
 2. 神戸大学大学院医学研究科 脳神経外科
 3. 神戸大学大学院医学研究科 泌尿器科
 4. 神戸大学大学院医学研究科 小児科
8. 脳磁図検査の有用性についての新規視点からの後方視的検討
○河村 祐貴¹⁾、松橋 眞生⁴⁾、岡田 直¹⁾、Ochgerel Tseeleinamsan¹⁾、三村 直哉¹⁾、山中 治郎¹⁾、山田 大輔²⁾、戸島 麻耶¹⁾、十川 純平⁵⁾、小林 勝哉¹⁾、宇佐美 清英⁴⁾、下竹 昭寛¹⁾、吉田 健司³⁾、菊池 隆幸²⁾、高橋 良輔¹⁾、池田 昭夫⁴⁾
 1. 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学
 2. 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学
 3. 京都大学医学部附属病院 小児科
 4. 京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座
 5. 京都大学大学院医学研究科 呼吸管理睡眠制御学講座

休憩

13:00 ~ 13:10

ランチョンセミナー

13:10 ~ 14:10

◆座長 宇田 武弘 (大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経外科学)

共催: エーザイ株式会社

てんかんとネットワーク

中野 直樹

(近畿大学医学部 脳神経外科学教室)

休憩

14:10 ~ 14:20

外科症例

14:20 ~ 15:10

◆座長 菊池 隆幸 (京都大学大学院医学研究科 脳神経外科)

9. 骨化硬膜下血腫double skullを摘出して脳梁離断を施行した脳炎後HHE症候群の1例
○藤本 陽介¹⁾、金 永珠¹⁾、的場 健人²⁾、前山 昌博¹⁾、十河 正弥¹⁾、松本 理器²⁾、
篠山 隆司¹⁾
1. 神戸大学医学部附属病院 脳神経外科
2. 神戸大学医学部附属病院 脳神経内科
10. 広範焦点が疑われた難治性てんかんに対して、SEEGでの評価後に焦点切除を行った一例
○宇田 武弘、田上 雄大、川嶋 俊幸、石野 昇、三好 瑛介、畑中 政人、高 沙野、
後藤 剛夫
大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経外科
11. 焦点切除後再発に対してVNS植え込み後、再切除術を行い発作寛解したMRI無病変右前頭葉てんかんの1例
○田村 健太郎、佐々木 亮太
奈良県立医科大学 脳神経外科
12. 言語非優位側の側頭頭頂接合部に対するてんかん外科手術後の視空間認知機能
～症例報告～
○西林 宏起、中井 康雄、中西 陽子、中尾 直之
和歌山県立医科大学 脳神経外科
13. 自発言語マッピングが有用であった前頭葉限局性皮質異形成の小児例
○岩田 貴光¹⁾、谷 直樹¹⁾、青天目 信²⁾、川本 有輝¹⁾、押野 悟¹⁾、KHOO HUI MING¹⁾、
細見 晃一¹⁾、三浦 慎平¹⁾、江村 拓人¹⁾、木本 優希¹⁾、松橋 崇寛¹⁾、石内 崇勝¹⁾、
小野田 祐司¹⁾、藤永 貴大¹⁾、柳澤 琢史¹⁾、平田 雅之¹⁾、下野 九理子²⁾、貴島 晴彦¹⁾
1. 大阪大学医学部附属病院 脳神経外科
2. 大阪大学医学部附属病院 小児科

休憩

15:10 ~ 15:20

スイーツセミナー

15:20 ~ 16:20

◆座長 岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター 小児脳神経内科)

共催：第一三共株式会社 / ユーシービージャパン株式会社

子どものてんかん診療における脳波の役割と抗発作薬

奥村 彰久

(愛知医科大学医学部 小児科学講座)

休憩

16:20 ~ 16:30

14. 全脳梁離断術を施行した滑脳症の2例

○松原 康平¹⁾、九鬼 一郎¹⁾、石岡 梨紗子²⁾、山田 直紀¹⁾、福岡 正隆¹⁾、
温井 めぐみ^{1,2)}、井上 岳司¹⁾、馬場 良子³⁾、國廣 誉世³⁾、宇田 武弘^{3,4)}、岡崎 伸^{1,2)}

1. 大阪市立総合医療センター 小児脳神経内科
2. 大阪市立総合医療センター 小児言語科
3. 大阪市立総合医療センター 小児脳神経外科
4. 大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経外科

15. 新生児期に発症し suppression burst を認めた片側巨脳症の1例

○相馬 健人、上田 拓耶、西山 将広、石田 悠介、丸山 あずさ
兵庫県立こども病院 神経内科

16. 乳児期早期から焦点意識減損発作を認めた神経皮膚黒色症の2例

○金丸 ゆり¹⁾、吉田 健司¹⁾、坂本 慧¹⁾、真田 由希子¹⁾、栢木 大誓¹⁾、西川 絹子¹⁾、
甲良 謙伍¹⁾、佐々木 彩恵子¹⁾、矢野 直子¹⁾、横山 淳史¹⁾、伏見 育崇²⁾、
坂本 道治³⁾、森本 尚樹³⁾、滝田 順子¹⁾

1. 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学
2. 京都大学 放射線診断学
3. 京都大学 形成外科

17. ビガバトリンが有効であった STXBP1 遺伝子変異を有する早期乳児てんかん性脳症の2例

○老川 静香、伊藤 立人、川村 葵、鮫島 智大、曾根原 晶子、花房 宏昭、洪 聖媛、
徳元 翔一、山口 宏、坊 亮輔、永瀬 裕朗
神戸大学医学部附属病院 小児科

18. 5歳時に食事前後の変化から診断に至った Glut1 欠損症の1例

○青天目 信^{1,2)}、西澤 日花里^{1,2,3)}、向井 昌史^{1,2)}、谷河 純平^{1,2)}、下野 九理子^{1,2,3)}、
宮 冬樹⁴⁾、加藤 光広⁵⁾

1. 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学
2. 大阪大学医学部附属病院 てんかんセンター
3. 大阪大学大学院 連合小児発達学研究所
4. 慶応義塾大学医学部 臨床遺伝学センター
5. 昭和大学医学部 小児科学